

ヤマケン 木のテント



- 京都府産木材の自由に繋げる組立式テント -

●状況

日本の国土の約3割を占める人工林。近年、間伐や再造林が十分に行われず荒れる人工林が増し問題となっている。
この問題は治水、景観、地域経済、更には地域の伝統文化にも深刻な影を落としている。これは国産木材が様々な要因で適量、適正価格で消費されなくなってきた結果、林業事業者が激減した事が大きな原因の一つとして考えられる事を多くの統計データが示している。

●対策

ヤマケン木のテントは、国産木材の需要を喚起し、利益が山に還元される仕組みの模索のひとつである。
日本中のイベントや祭りで鉄パイプとビニール布製の組立式テントが大量に使われている。これを木質化することで、国産木材の需要を掘り起こすとともに、見慣れない木のテントがイベント参加者の目に触れることによって、国内人工林で起こっている問題の周知、啓発のきっかけづくりが行えないかと考えた。



25
ユニット
大型休憩所

第40回全国育樹祭式典会場休憩所
府民の森ひよし（南丹市）



11
ユニット
イベント会場



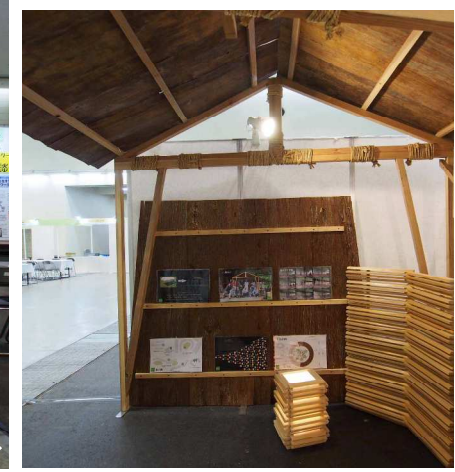
←↑2016男山秋祭り（八幡市）での
DIYイベント会場



←↓2016京都環境フェスティバルでの
北山杉活用研究会 展示ブース

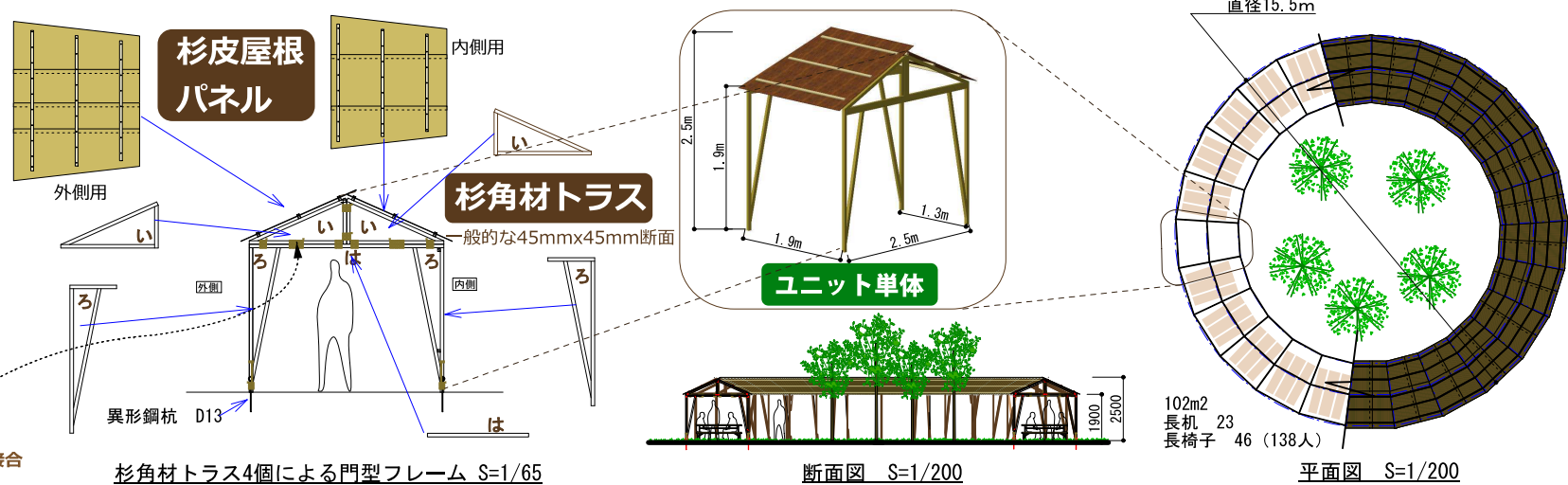


2
ユニット
展示ブース

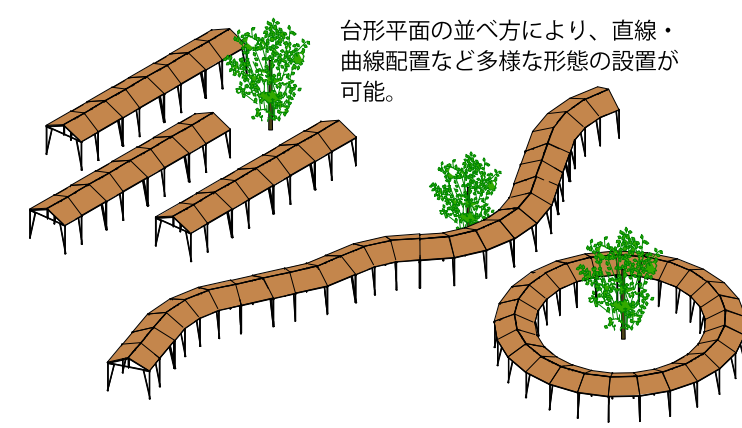


○簡単な組立て

- ① 4個のトラスを荒縄で接合
 - ② 出来た門型フレームを2個建て
 - ③ 杉皮屋根パネルを2枚乗せる
- 1ユニットの完成
- ①～③を繰り返しユニットをつなげていく



○多様な形態



○今後の展望

上記3回の利用により新たな設置の要望や、購入依頼があった。
今後は改良を加えながら、貸出サービス、ユニット販売の仕組みづくりを行い、「ヤマケン木のテント」の普及を図る計画である。



杉皮屋根パネル 杉皮剥ぎワークショップで杉皮を地元の山で調達



杉角材トラス どこにでもある材料で簡単に作る



荒縄縛りによる接合 祇園祭の鉾にも使われる結び方「男結び」 大人がぶら下がっても大丈夫



○簡単な組立て